

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド竹鼻

調査期間：令和元年 11 月 1 日～令和元年 11 月 30 日 回答職員数： 8 名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		活動によっては、狭く感じることもある。
	2	職員の配置数は適切であるか	8		最低人員は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		玄関から活動室までバリアフリーになっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		活動にあわせた空間となっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		毎日職員ミーティングを実施し、職員全員から意見を聞いている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		業務改善をしていくミーティングを常に行っていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	4	これからやっていきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		8	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		社員研修、アセスメント講習など定期的に行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		相談支援専門員や学校と連携をとり、支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		原案を担当者が決め、職員のディスカッションで決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		職員で意見を出し合い、他の事業所のプログラムも参考にしながら工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		毎日ミーティングを行い、周知している。

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		職員 1 人 1 人が意見を出し、共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		記録をふまえ、毎日ミーティングを行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8		当事業所では、今現在医療的ケアが必要な子は入所していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		他の事業所と連絡を密にして、連携を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		他の事業所と訪問、連絡を密にしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8		障がいのない子たちと活動する機会を設けている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		8	これから積極的に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		原則、半年に一度モニタリングを行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		契約時に懇切丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		電話対応、お迎え時にお話をきいたり、訪問をしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		年に 1 回保護者会を行う。

	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		24 時間対応できるよう体制を整えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		毎月キッズbond通信の発行、行事予定表を発行、配布し周知している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		書類は鍵付書庫で厳重に保管、HP上の写真には保護者の同意を得た上、モザイクをかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		あいまいな表現は使わず、場合によっては視覚化して意思疎通を図っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		地域住民が参加できるイベントは実施していない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		書類にして周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		毎月避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		アレルギー確認したうえで、指示書が必要な状況の子は今のところいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		事業所内だけではなく、グループ全体で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		研修は、毎回行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		運営規定に記載している。

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

キッズボンド竹鼻

調査期間：令和元年11月1日～令和元年11月30日

回答職員数： 8名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			活動内容によっては狭く感じることもある。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			最低人員は確保している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5		ほぼバリアフリー化しているが、一部段差が見られる。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8			毎日、ミーティングを実施しており職員全員から意見を聞いている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	3		保護者へ評価表を配布しているほか、保護者とメールや電話で密に連絡を取っておりニーズに応えた業務改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8			市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	3		社員研修や、アセスメント講習を定期的に行っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			相談支援専門員や学校と連携をとり、支援計画書を作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			原案を担当者が決め、職員のディスカッションで決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			職員で意見を出しあい、他の事業所のプログラムも参考しながら工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			平日と学校休業日にあわせ児童の負担も考え設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			一人ひとりの児童の個性を捉えて支援計画を作成し、それに基づいて活動設定している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			ミーティングは必ず実施し、担当の役割を決めて支援している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			職員一人ひとりが意見を言いやすい環境を整え、意見を出し合い改善している。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			日々の支援記録を児発管がまとめ、検証・改善をしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	4		原則、半年に一度モニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	3		製作、食育、お出かけ、地域交流を柱とし支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			必要に応じてサービス担当者会議を開催していただき出席させていただいている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			保護者とは連絡帳やメール、電話を通して、学校とは定期的に連携会議を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			8	医療的ケアが必要な児童は、現在のところいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			情報共有を密にして、支援に生かしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			8	学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童は、現在ところいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			8	児童発達支援センターへの連携、専門機関との連携を密にしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3		少人数ではあるが、健常児と一緒に活動する機会を設けている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			8	協議会そのものの状況把握が出来ていない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			定期的に保護者との面談や日々の連絡を通じ、共通理解をもっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			8	全保護者にはペアレントトレーニングは実施していない。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に懇切丁寧に説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			事業所内相談支援、家庭連携を実施している。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3		年1回保護者会を実施。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			苦情があった場合には、担当指導員が管理者・児発管に報告し、保護者と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月、「キッズbond通信」を月初に発行し保護者に配布、HPにアップし活動の様子を伝えている。翌月の行事予定も、「行事予定表」を配布し周知している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			書類は鍵付書庫で厳重に保管、HP上の写真には保護者の同意を得た上、モザイクをかけている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			あいまいな表現を使わず、場合によっては視覚化して意思の疎通を図っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	8		積極的には行っていないが、今後検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			書類にして周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			避難訓練は実施しているが十分とはいえない。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			研修は、毎週行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			身体拘束について児童、保護者とも説明をし了解を得ており、運営規定に記載している。記録にも残している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			アレルギー確認したうえで、対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			事業所内だけでなく、グループ全体で共有している。